

矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは8名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！



読書の町づくり担当、地域おこし協力隊の畠山です。今年の4月に着任してから早いもので、もう半年が経ちました。あんなにいたカエルもだいぶ数が減ってきて、すこし寂しい気もします。この半年で企画を何回か協力隊で立ち上げさせていただき、町の人との交流も増えてきました。

最近では以前見学に伺ったご縁があり、カナザワ建具店さんで組子の体験と作品の見学をさせていただく機会がありました。精巧な作品や、組子の技術や扱う木材についてとても興味深いお話を伺いました。体験し、話を聞いた後だとまた違った視点で組子を見ることができ、知ることはやっぱり面白いと実感しました。自分が知らないだけで、まだまだ矢祭にはすごい技術を持った人がいるのかもしれない。もっと町の人を知ってみたいです。

ここ数か月は新しい体験や考えることが多かったためか、「本を通じたまちづくりで、自分には何ができるだろう?」とあらためてぐるぐる悩んでいます。自分の中でだけでなく、町との関りで答えを探していきたいです。

こんにちは、読書の町づくりを担当している眞野です。最近はずっと涼しくなってきましたね！寒がりなので、朝はマフラーが必需品となりつつあります。

さて先月はマルシェや丸安さんとのコラボイベントなど盛り沢山の月でした！お陰様で一ヶ月があつという間、充実しております。

マルシェでは私は、本に関するボードゲームを行いました。人狼ゲーム(ワードウルフ)が子供たちに人気でしたね！一人だけ違うお題について話す、という状況で人狼が上手く立ち回っていました。ルールについて説明するまでもなく、むしろこちらが「どうやったら勝てるの?」と教えて欲しいくらいの見事な試合運びでした。またブースの名前も、こういったゲーム等が読書のきっかけとなるように「Book Hub」としました。「この本、ゲームで名前聞いたな」と手に取る理由になれば幸いです。今月は元気祭にお邪魔させていただきます。新しい企画や試みもあるので、是非ごゆるりとお楽しみください！

畠山 青敵 Seiho Hatakeyama

読書の町づくり担当

東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。

眞野 夏凜 Karin Mano

読書の町づくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に着任。読書、音楽を聴くのが好き。最近backnumberばかり。

